

彩の国連携力育成プロジェクト緩和ケアIPW（多職種連携）研修会企画書

日程：2022年11月6日（日）9:30～16:30

会場：Zoomオンライン（Web会議システム）

目的

緩和ケアに特化した利用者中心の統合されたケアを創造するために、「利用者・地域の問題解決プロセス」の模擬的実践を通して、緩和ケアにおける「チーム形成プロセス」、および「組織や機関間・地域連携プロセス」にも意図的に目を向け、より良い緩和ケアIPWの方法やあり方を考える機会とする。また、各所属施設（実践現場）におけるより良い緩和ケアIPWの実践（または緩和ケアIPW方法の構築）のための“施設内緩和ケアIPE（専門職連携教育）”について考える機会とする。また、今回はオンラインによる遠隔で実施することから、「オンラインによる遠隔」と「対面」の「やりとり（連携）」の違いについても考える機会とする。

目標

- 1) 緩和ケアにおける利用者・地域資源の理解と課題解決の実践方法を意図的に確認する
- 2) 緩和ケアにおけるチームメンバーの専門性と多様性を相互理解する態度を意図的に確認する
- 3) 緩和ケアにおけるチーム形成プロセスと協働の実践方法を意図的に確認する
- 4) 緩和ケアにおける組織や機関間・地域連携プロセスの実践方法を意図的に確認する
- 5) 緩和ケアIPW演習体験を振り返り、意味づけ、自己の課題および所属施設における課題（チーム課題、専門職としての課題、地域連携課題等）および解決策を見出すためのリフレクションが意図的にできる
- 6) 「オンラインによる遠隔」と「対面」におけるチーム活動（連携）の違いについて考える

緩和ケアIPW研修会実施スケジュール概略

9:30～10:00（30分間）

1) 開会, 2) 緩和ケアIPW演習実施方法説明

10:00～10:30（30分間）

3) IPWの基本（講座）

10:30～10:45（15分間）

4) 緩和ケアIPW演習（アイスブレイク）

10:45～14:30（約4時間）

5) 緩和ケアIPW演習（※適宜昼食）

対象者情報の収集・整理・共有, 対象者課題（問題）等の抽出・共有,

対象者課題（問題）に対する支援方針・計画（案）の検討

14:30～16:00（1.5時間）

6) 報告会, 参加者の学び共有

16:00～16:25（20分間）

7) リフレクション, アンケート（感想）

16:30

8) 閉会

< 予算案 >

科目	予算額	備考
会場費	0	Zoom によるリモート開催
旅費	5,000	スタッフ交通費 (4 大学の事業予算から捻出) 運営拠点への交通費
人件費	100,000	模擬患者謝礼金 5 名 × 20,000 円
通信費	0	* 連携 4 大学の郵送物に案内チラシを同封予定
印刷費	5,000	資料、案内等印刷、他
備品・消耗品費	2,000	筆記用具等
雑費	0	
計	112,000	